

産業廃棄物処理計画書	
令和6年6月19日	
愛媛県知事 中村 時広 殿	
提出者	
住 所 愛媛県新居浜市菊本町2-10-2	
氏 名 日本エイアンドエル株式会社 愛媛工場	
取締役工場長 玉井 清二	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0897374616	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	日本エイアンドエル株式会社 愛媛工場
事業場の所在地	愛媛県新居浜市菊本町2-10-2
計画期間	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	製造業
② 事業の規模	製品出荷額：20,649,794千円
③ 従業員数	238 名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別紙のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 2023年度）実績】		
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	別紙のとおり	
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	別紙のとおり	
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 汚泥、廃油、廃プラスチック、木屑、金属くず、廃アルカリ、廃酸、がれき類 をそれぞれ分別している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状のとおり分別を継続する

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		
	自ら再生利用を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		
	自ら再生利用を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	汚泥	
	自ら熱回収を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産 業 廃 棄 物 の 量	32015 t	t
	(これまでに実施した取組) 製品ロスの削減を継続 中間処理装置の補修改善により廃棄物量の削減		
②計画	【目標】		
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	汚泥	
	自ら熱回収を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産 業 廃 棄 物 の 量	29040 t	t
	(今後実施する予定の取組) 製品ロスの削減を継続 中間処理装置の更新／増設により、中間処理能力の安定化		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		
	自 ら 埋 立 処 分 又 は 海洋投入処分を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		
	自 ら 埋 立 処 分 又 は 海洋投入処分を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		
	全 処 理 委 託 量	3875 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	3845 t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	403 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	22 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	3467 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	3438 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	393 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 優良認定処理業者への処理委託比率を80%以上とする。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

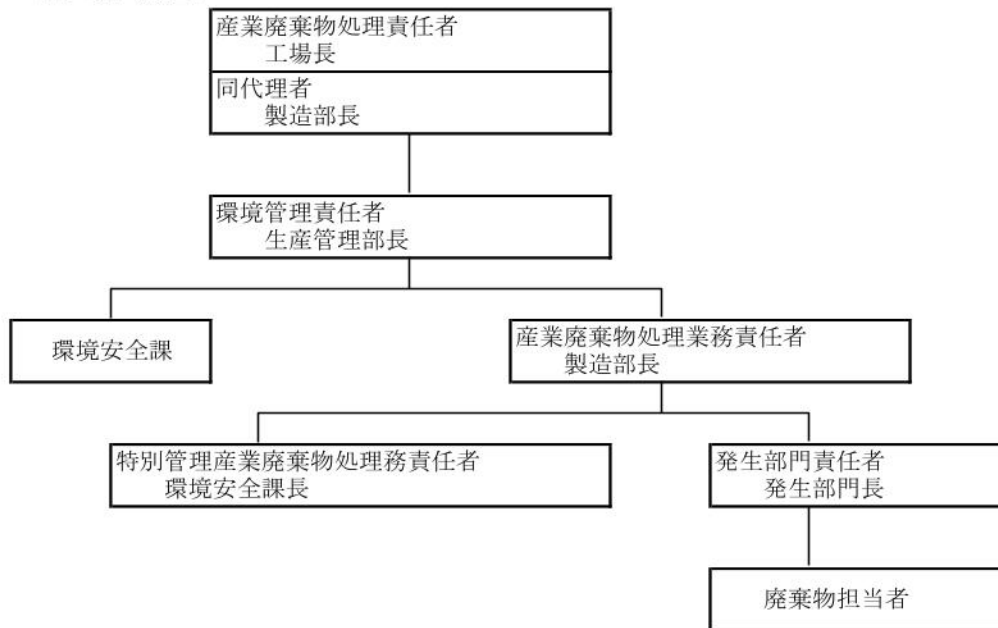
(第 1 面)

産業廃棄物処理計画書	
2024 年 6 月 13 日	
愛媛県知事様	
提出者	
住 所	愛媛県新居浜市菊本町2丁目10番2号
氏 名	日本エイアンドエル株式会社 愛媛工場
代表者 工場長 玉井 清二	
電話番号	0897-37-4616
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	日本エイアンドエル株式会社 愛媛工場
事業場の所在地	愛媛県新居浜市菊本町2丁目10番2号
計画期間	2024年4月 ～ 2025年3月
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	1 6 3 5 (プラスチック製造業)、1 6 3 6 (合成ゴム製造業)
② 事業の規模	製造品出荷額： 20,649,794 千円
③ 従業員数	238 名 (2024年4月1日)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	発生 脱水 収集運搬 (処分) 焼却・溶融 焙焼 破碎圧縮 切断圧縮 中和 凝集沈殿 (最終処分) 焼成(クリンカ) 管理型埋立 製鋼原料化 助燃剤販売

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 汚泥、廃油、廃プラスチック、木屑、金属くず、 廃アルカリ、廃酸、がれき類 をそれぞれ分別している。
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状のとおり分別を継続する

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再利用に関する事項

① 現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	32,015 t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	29,040 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	製品ロスの削減を継続		
	中間処理装置の補修改善により廃棄物量の削減		
	製品ロスの削減を継続		
	中間処理装置の更新／増設により、中間処理能力の安定化		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり	
	全処理委託量	3,875 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	3,845 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	403 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	22 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙１のとおり	
	全処理委託量	3,467 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	3,438 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	393 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	優良認定処理業者への処理委託比率を80%以上とする。		

※事務処理欄

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

普通の産業廃棄物の排出抑制／処理の委託に関する事項											
①現状											
2023 年度(前年度)実績											
No.	項目	区分 種類	2 1	2 3	2 2	2 5	2 6	2 8	2 10	2 9	単位：t/Y
廃棄物の種類			汚泥	廃プラ	廃油	金属くず	木屑	廃アルカリ	廃酸	がれき類	計
①	総発生量		32,467	331.6	157.1	0.0	21.6	1,080	0.000	0.900	32,979
②	自ら直接再生利用した量		0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.000	0.000	0.000	0
③	自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量		0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.000	0.000	0.000	0
④	自己中間処理量		32,015	0.0	0.0	0.0	0.0	0.000	0.000	0.000	32,015
⑤	④のうち熱回収を行った量		0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.000	0.000	0.000	0
⑥	自ら中間処理した後の残流量	1	2,910	0.0	0.0	0.0	0.0	0.000	0.000	0.000	2,910
⑦	自ら中間処理により減量化した量		29,104	0.0	0.0	0.0	0.0	0.000	0.000	0.000	29,104
⑧	自ら中間処理した後再生利用した量		0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.000	0.000	0.000	0
⑨	自ら中間処理した後自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量		0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.000	0.000	0.000	0
⑩	直接及び自ら中間処理した後の処理委託量		3,363	331.6	157.1	0.0	21.6	1,080	0.000	0.900	3,875
⑪	優良認定処理事業者への委託量	1	3,363	302.9	157.1	0.0	21.6	1,080	0.000	0.000	3,845
⑫	再生利用業者への委託量	1	336	41.9	24.4	0.0	0.0	0.216	0.000	0.900	403
⑬	熱回収認定業者への委託量	1	0	0.0	0.0	0.0	21.6	0.000	0.000	0.000	22
⑭	熱回収業者への委託量	1	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.000	0.000	0.000	0
※1	外部減量化		3,026	272.6	132.8	0.0	0.0	0.864	0.000	0.000	3,432.7
※2	外部埋立		0.1	17.1	0.0	0.0	0.0	0.000	0.000	0.000	17.2

【目標】		種類	1	3	2	5	6	8	10	9	単位：t/Y
No.	項目	廃棄物の種類	汚泥	廃プラ	廃油	金属くず	木屑	廃アルカリ	廃酸	がれき類	計
①	総発生量		29,317	377	148	0.0	24.8	0.0	0.0	0.0	29,867
②	自ら直接再生利用した量		0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
③	自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量		0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
④	自己中間処理量		29,040	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	29,040
⑤	④のうち熱回収を行った量		0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
⑥	自ら中間処理した後の残流量		2,640	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2,640
⑦	自ら中間処理により減量化した量		26,400	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	26,400
⑧	自ら中間処理した後再生利用した量		0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
⑨	自ら中間処理した後自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量		0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
⑩	直接及び自ら中間処理した後の処理委託量		2,917	376.7	148.5	0.0	24.8	0.0	0.0	0.0	3,467
⑪	優良認定処理事業者への委託量	1	2,917	347.9	148.5	0.0	24.8	0.0	0.0	0.0	3,438
⑫	再生利用業者への委託量	1	292	48.2	28.0	0.0	24.8	0.0	0.0	0.0	393
⑬	熱回収認定業者への委託量		0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
⑭	熱回収業者への委託量		0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0